



TITLE:

雜纂

AUTHOR(S):

CITATION:

雜纂. 日本外科宝函 1934, 11(3): 787-789

ISSUE DATE:

1934-05-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/203453>

RIGHT:

雜 纂

京 都 外 科 集 談 會

2 月 例 會

京大樂友會館ニ於テ2月20日午後6時半ヨリ開會，雜誌抄讀ニ次ギ下記ノ臨床例報告，講演アリタリ。松尾内科教室ヨリモ多數出席，原，井上兩博士ノ講演ニ對シテ鳥潟教授ヨリ謝辭アリテ内外兩科共同集談會ノ觀ヲ呈シ，誠ニ盛會デアッタ。

臨 床 例

Sublinguale Dermoidzyste ノ1例

野 平 藤 雄 君

乳兒ニ於ケル急性脾臓炎

青 木 弘 君

急性胃擴張ヲ主徴トセル蟲様突起炎ノ1例

藤 原 紫 郎 君

興味アル腹部腫瘤

乘 岡 圓 了 君

銀環法ニヨル嵌頓直腸脱ノ1治驗例

野 平 藤 雄 君

内痔核根治手術ニ向ツテノ新シキ術式ニ就テ

鬼 束 惇 哉 君

講 演

2,3ノ栄養療法ニ就テ

原 亨 博 士

内科ノ立場カラ觀タ膽石症

井 上 硬 博 士

月 例 會

京大樂友會館ニ於イテ3月20日午後6時半ヨリ開會，下記ノ臨床例報告ト共ニ淺井東一氏，中央レントゲン室岩井孝義博士ノ講演，岡講師ノ就任演說アリ，盛會デアッタ。

臨 床 例

腸管囊腫様氣腫ノ1例

青 木 弘 君

限局性漿液囊腫性脊髓膜炎

龜 山 致 君

所謂潜源性腹膜炎

山 岸 信 君

小腦孤在性結核治驗例

荒 木 講 師

「S」字狀結腸軸捻轉症ノ6例

都 谷 博 士

小臨床例 (イ) 習慣性股關節脱臼， (ロ) 膝蓋靱帶斷裂，

ハ) 膿胸ト「コクチゲン」

吉 益 博 士

特 別 講 演

深部溫熱療法ノ小提案

淺 井 東 一 氏

就 任 演 説

Besredkaノ所謂「Antivirus」並ビニソノ免疫學説ニ對スル批判 岡 講 師

特 別 講 演

移動性長S字狀部症ニ就イテ

岩井孝義博士

京大新教室員入局式

此度京大外科教室へ入門シ度イトノ希望ヲ鳥潟、磯部兩教授ノ許へ申し出テアツテ詮衡ノ結果愈々ソレガ許可サレタ諸君ノ入局式ガ昭和9年4月13日午前11時半外科圖書室デ行ハレタ。

荒木講師、藤浪講師、岡講師、裕助手、高安助手、石野助手、弘重助手列席ノ上、鳥潟、磯部兩教授ハ整列シテ居ル諸君ノ前ニ進ミ出ラレテ前以テ差出サレテアツタ名簿ニ從ヒ名前ト本人トヲ引キ合セータ挨拶サレタ。ソレカラ鳥潟教授ハ例年ノ如ク京大外科教室ノ不文律トモ言フベキ大要下ノ様ナ心得方ヲ述ベラレタ。

『此ノ外科學教室ヲ現在主宰シテ居ル吾々兩人ガ相談ノ結果今度諸君ヲ新タニ教室員トシテ採用スル事ニ決定シマシタノデ諸君ハ本日只今カラ教室ノ人デアリマス。併シ普通ヨク言ハレタリ考ヘラレタリシテ居ル様ニ諸君ハ大學ノ學生ノ延長トシテ當然ノ權利デ今ヤ外科教室ヘ這入ツテ來タノデアリマセン。

入學試験ニ及第シ太學生トナレバソノ大學デ教育ヲ受ケル權利ガアリ、マタ教授ハソノ國家的職責トシテ「定メラレタ課程」ニ從ヒ諸君ヲ教育スル義務ガアツタノデスガ大學ヲ卒業シテ仕舞ヘバソレデ事済ミデアリマス。

本日諸君ガ外科學ヲ專攻シタイ希望デ教室ヘ入門スル事ヲ許サレタノハ大學トハ全く別問題デ從ツテ決シテ國家ガ許可シタノデハナクテ唯ダ吾々兩名ガ吾々限りデ許可シタノデアリマス。此ノ意味デ此ノ教室ハ一種ノ私塾ノ様ナモノダト御心得下サイ。

愈々教室デ稽古ヲ始メル様ニナレバマタ更ニ種々ナ注意モ致シマスガ本日ハ諸君ガ教室員トナツタ第1日デ教室ノ主宰者トノ初對面ノ日デアリマスカラ「教室」トイフモノニ對シテ前ニ述べタ様ナ概念ヲ持ツ様ニ心ノ準備ヲシテ下サイ。

ソレカラ此ノ教室デハ先代ノ猪子、伊藤兩教授ガ相談サレタ結果トシテ甲ナリ乙ナリ何レカノ或ル個人ノ教室トイフ事デハナク單ニ『京大外科學教室』トナツテ居リ、吾々兩人モソノ主旨ニ從ツテ今日ニ至ツテ居リマスカラ諸君モ個人的固有名詞ニ支配サレズニ唯京大外科學教室員トイフ立場ニ在ル事ヲ忘レヌ様ニシテ下サイ。ソレバカリデハナイ此ノ教室ハ整形外科學教室トモ密接ノ連結ガアリ外科學教室員ハ一度ハ必ず整形外科學教室員トモナルベキ事ニ定メテアリマスカラ、コレモ前以テ御承知置キ下サイ。』

更ニ鳥潟教授ハ語ヲ續ケラレテ、『此處ニ教室ノ古參ノ人々ガ列席シテ居リマス。諸君ハ萬事

萬端此等兄分ニ當ル先輩ニ相談ノ上デ行動シテ下サイ。』ト言ハレ、兩教授ハ退場セラレタ。

新教室員諸君ハ列席ノ先輩諸氏ニ各自挨拶シテ、教室員名簿ニ署名シタ。新入局諸君ハ下記ノ17名デアル。

宇野尙、上月貞藏、曾我頼幸、田島猪三夫、永井亮二、平澤好昭、房岡隆三、町田速雄、水口三郎、安江高助、横山正夫、姫野純一、野間勇、大山麟三、中牧壽昌、鳥潟高城、坪田勸。

伊藤教授送別並ニ京大外科懇親會

4月29日午後6時半ヨリ春雨ノ宇治菊屋ニ於イテ開催。桑原下學、宇山俊三、澤村榮美、津田太郎、林喜作、鈴木正次、河合六郎、保々輝雄、加藤甚七、原守藏、伊藤肇、横田浩吉ノ京阪在住ノ教室諸先輩以下、遠ク山口縣ヨリ淺海吾市博士、廣島縣ヨリ東三平博士モ馳セ參ゼラレ、15名ニ達シ、主客歡ヲ盡シ極ハメテ盛會デアツタ。

伊藤教授渡歐

5月3日午後3時神戸港解纜ノ宮崎丸ニテ令夫人御同伴御渡歐サレタ。

第35回日本外科學會總會

昭和9年4月2, 3, 4ノ3日間第9回日本醫學會第21部分科會トシテ東京帝國大學工學部新講堂ニ於テ赤岩會長司會ノモトニ開會、サシモノ大講堂モ狹隘ヲ感ジタ程盛會デアツタ。次回會長ハ伊藤弘教授、開催地ハ東京、宿題ハ股關節外科(擔當者 九大整形外科 神中正一教授)及ビ脊髓外科(擔當者 慶大整形外科 前田和三郎教授、岩原寅緒講師)ト決定シタ。

彙 報

入 會

東京市神田區末廣町10鈴木方

和歌山市今福町158

東京市慶應大學病院整形外科教室

京都帝國大學醫學部外科學教室

〃

澁谷謙二

荻野金八

大内正夫

安江高助

町田速雄